

目標達成計画

作成日: 平成 24 年 5 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念は開設当初に作成されているが、職員が変わる中で、職員の理念に対する理解と共有化が薄らいでいる。	全職員に施設理念の理解と共有化を図る。	○状況にあった施設理念になるよう再検討する。	3ヶ月
2	23 ・ 26	入居者一人ひとりの思いや暮らし方の希望についての情報が曖昧で、現状に則した介護計画にする必要がある。	入居者一人ひとりの思いや意向に基づいたケアが継続できるようにする	○「その人らしさ」の把握のため、再度、入居者・ご家族から思いや生活歴の情報収集をする。 ○毎月のモニタリングにより些細な変化に気づき、介護計画に反映させる。	6ヶ月
3	4	運営推進会議の内容は、施設側からの報告等がメインであり、地域からの意見がサービスの向上に活かされていない部分がある。	地域・施設の双方の意見からサービスの向上に繋がるような会議にする。	○構成メンバーから地域の状況や意見などの情報収集をする。 ○防火訓練など行事に参加してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。